

若手職員からのメッセージ

○ 警察庁技官（平成24年度採用）

(1) 現在の業務内容

私は機動通信課に所属し、主に警察署や無線中継所等に設置している通信機器の保守、点検業務を行っています。中でも山上にある中継所で作業を行う時は自然の豊かさ美しさを感じることができます。

(2) 業務をするうえで心掛けていること

コンピュータ工学分野で「Garbage In Garbage Out」という言葉があります。無意味なデータをコンピュータに入力すると無意味なデータが返されるという意味ですが、我々が仕事をする上でも同様です。知識や経験の差によるコミュニケーションロスが生じないように、指示命令する側は、相手にとって有意かつ効果的な指示命令を出さねばなりませんし、受ける側も、自身が理解し実行できるように確認しなければなりません。私はまだまだ知識や経験が浅く、そのためにコミュニケーションロスが生じないように、十分な質問、確認をするように心掛けています。

(3) 現課の業務について、これまでで一番驚いたこと

今年の新規採用者に「どうしてこの仕事を選んだの。」という質問をしたところ「この仕事が格好良いと思ったから。」という答えが返ってきたことです。詳しく聞けば、警察庁技官として勤務している学校の先輩に憧れていたとのこと。先輩職員として後輩を失望させてしまうことが無いように襟を正さねばならないと感じました。

(4) 警察庁技官を目指す人に向けたメッセージ

ゴーギャンの大作に「我々はどこから来たのか我々は何者か我々はどこへ行くのか」と題する絵画があります。私のような無粋者でも人生を考えさせられる作品です。何を仕事とするかは、人生を考える上で重要な選択です。しかし、選んだ仕事にどのような姿勢で臨むのかも同じく重要です。自身の選択に自信と責任を持つことが良い職業人生を送ることに繋がると考えます。

これは警察庁技官ならずとも言えることです。私のメッセージが貴方の選択に少しでもお役に立つとともに、是非一緒に仕事できることを祈念しております。



○ 警察庁技官（平成28年度採用）

(1) 現在の業務内容

私は機動通信課に所属し、無線中継所に導入されている各種システムの維持管理や警察官が使っている無線機の保守業務を主に行っています。機器が適切に動作し円滑に警察活動ができるように、無線中継所に出向き点検業務や障害対応を行います。また、障害の発生した無線機の修理も行っています。

(2) 警察庁を選んだ理由

私が参加した採用説明会で、警察庁の方から犯罪に使用されたスマートフォンやパソコンを押収した時に、その解析を行い犯罪捜査に貢献する業務があるとの説明を受けました。国民のために仕事ができ、社会に貢献できる仕事をしたいと考えており、解析業務がそのことに直結していると感じたため警察庁を選びました。

- (3) 業務について苦勞していること、心掛けていること

学生時代に専門としていた分野ではない無線のシステムについては、当初分からないこともありました。上司や先輩技官に指導を仰ぎ、日々様々な経験を積みながら早く一人前の技官となることを目指しています。

- (4) 職場の雰囲気

警察組織ということで厳しいイメージを持たれる方がいると思いますが、私達の職場は分からないことも質問しやすい先輩が多くいる職場です。仕事についても、私生活についてもアドバイスしてもらえるので、安心して仕事に打ち込むことができます。

- (5) 警察庁技官を目指す人に向けたメッセージ

情報通信部では電話や無線、映像等様々なシステムによって警察官の活動を支えています。情報通信部の扱っている業務は多岐に渡るので自分に合った業務が見つかると思います。皆さんと一緒に勤務できることを心待ちにしています。



○ 警察庁技官（平成29年度採用）

- (1) 現在の業務内容

情報通信学校卒業後、各課の教養を受ける傍らで、警衛警備において警察官が使用するさまざまな無線機を仕分けたり、ヘリコプターのカメラから映像を受信する装置を設置し制御したりと、実践的な業務を通して日々学ばせていただいています。

- (2) 警察庁を選んだ理由

高専在学中に学んだ知識を生かし、社会に貢献できる仕事がしたいと思ったこと、そして警察という仕事に憧れがあったこともあり、警察庁技官を志望しました。警察活動を支えることは、国民の安心、安全を守ることにつながるため、やりがいを感じています。

- (3) 業務について苦勞していること、心掛けていること

研修期間中は、無線、映像、衛星など、機動通信課だけでも思った以上に業務内容の幅が広く、苦勞しました。分からないところはできるだけ早く理解していけるよう積極的に質問し、メモを取るよう心掛けています。また、通信機器等に障害が発生した時は、その対応方法を学ぶことができる生きた教材と受け止め、その経験を今後生かせるよう原因や復旧手順を確実に理解するようにしています。

- (4) 職場の雰囲気

警察組織であるため、規則など厳しいと感じる部分もありますが、上司の方々が気軽に話しかけてくださったり、分からないことを優しく教えてくださるため、楽しく働いています。和気あいあいとした雰囲気、働きやすい職場だと感じています。

- (5) 警察庁技官を目指す人に向けたメッセージ

専門的な知識を求められることを不安に思うかもしれませんが、採用1年目は研修期間であり、3か月半の入校と、その後の職場での実習で、基本的なことからしっかり身に付けることができます。また、警察活動に欠かすことのできない通信システムを保守する仕事は、とてもやりがいがあります。皆さんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。

